

「当院では病院総合医を志望する医師を募集します」

近年、医療の専門化、細分化が進み総合的に患者の病態に対応することのできる医師の不足が指摘されております。その弊害は中小規模の医療機関において顕著ですが、多数の医師を擁する大規模病院においても同様の状況にあります。このような状況に鑑み、当院が属する独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)は地域医療・地域包括ケアの要となる総合医などの人材育成を掲げております。

他方、プライマリケア連合学会後期研修を修了した医師や、専門医資格があるがキャリアの進行とともにジェネラルな診療を志す医師も存在します。現状ではこれらの先生方の一部は、家庭医療・訪問診療に携わる開業に進まれます。しかしながらこれらの先生方は、患者を総合的に診療する手腕だけでなく、病診連携についても経験を積んでおられ、地域の医療連携ばかりでなく病院診療の舵取り役としても貴重であると考えております。

このため、当院は一般社団法人日本病院会が認定する病院総合医を養成する育成プログラム(カリキュラム)を作成し、病院総合医を育成する事にいたしました。JCHO 大阪みなと中央病院は 2019 年 9 月に現在地から大阪市港区の弁天町駅前に新築移転の予定ですが、新病院は、港区の人口密集地にあるばかりでなく、国道 43 号線、大阪市中央大通り、阪神高速道路、大阪メトロ中央線、JR 西日本環状線などが交差する交通の要衝にあつて、来院患者もこれまで以上に増加・多様化すると予想されます。当院はこれまでも総合医指導者 3 名を擁し全人的医療を行ってきましたが、新病院にあつてはさらに院内・院外の多職種と連携した地域包括ケアを踏まえた医療を展開したいと考えています。また当院は大阪市港区の唯一の公的病院として、市・区ならびに医師会と連携しながら、在宅医療介護連携相談の支援事業にも関わるなど、地域包括ケアシステムの構築に尽力してまいりました。

当院は、新病院の 1 階に救急初療外来部門を予定しております。また、救急医 2 名を招聘しこれまで主に整形外科・内科が担い、外科・形成外科などが協力して行ってきた救急医療の集約を行い、救急医療と高度医療の両立を図る予定です。このような職場環境は、これまでに総合医として研鑽を積まれた先生にも必ずや裨益する所があるものと思っております。志のある先生方の応募をお待ちしております。

平成 30 年 11 月 30 日

大阪みなと中央病院
副院長 辻 晋 吾